

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（１）子育て・子育ての安心		
	使命	⑤子どもや青少年が健やかに育つようにすること	基本目標	①いじめや子どもの人権侵害、不登校の状況が改善されること ③少年の非行の状況が改善されること
運営目標	小項目	1	暴力行為など児童生徒の問題行動を防止し、また、いじめや体罰を無くすため、未然防止、早期発見、早期解決までの総合的対策に取り組みます。	
			①緊急対策・早期解決 「いじめ対策専門指導員」等を派遣し、未解消いじめの早期解消やいじめのきめ細かな把握などについて学校を指導するなど、学校体制を支援【問題事象に対し迅速に配置】 - 暴力行為などの課題がある中学校区の生徒指導体制の充実 「生徒指導緊急指導教員」の中学校への配置【問題事象に対し迅速に配置】 - いじめ危機管理チームの派遣【深刻な事象が発生した場合迅速に派遣】	
			目標設定の考え方	緊急時の学校体制の強化
			②早期発見、相談体制の充実、学校体制の強化 - スクールカウンセラーの配置【小17校、中高全校配置】 - 高学年を対象としたまなび・生活アドバイザーの小学校への配置【5校配置】 - いじめ対策検討のための有識者会議(第三者委員会)の設置【設置】 - 教職員の意識改革のための研修会を開催【5回開催】	
			目標設定の考え方	通常時の学校体制の強化
			③地域や警察をはじめとする関係機関と連携した、児童生徒の問題行動を防ぐための取組の推進 - PTAと連携したいじめ・非行防止キャンペーンの実施【延100回】 - 外部講師を学校に派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える「いのちとこころのコミュニケーション事業」を推進【開催回数 延30回】 - 学校警察連携会議の開催【府内26カ所 延100回】 - スクールサポーターや警察と連携した非行防止教室の開催【全小中学校】	
			目標設定の考え方	非行防止教室については全学校実施を公安委員会と共同宣言実施、PTAとの新規キャンペーンはできる限り多く実施できるよう努力
			④学校から体罰を一掃するための取組の推進【体罰0】 - 体罰防止のための手引きを作成し学校で活用 - 運動部活動指導の手引き(仮称)を作成し学校で活用 - 教職員の意識改革のための研修会を開催	
			目標設定の考え方	体罰は子どもたちの人権を侵害する絶対にあってはならない行為

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（6）暮らしの安心		
	使命	②交通事故から人々を守ること ③災害から人々を守ること	基本目標	①交通事故が減少すること ①災害時の被害が軽減されること
運営目標	2	子どもの命を守るための学校安全教育を徹底的に取り組むとともに、安心・安全な教育環境を整備します。		
	小項目	①地域社会やあらゆる関係機関と連携した通学路の安全確保をはじめとする徹底した学校安全体制の整備 ・通学路安全対策アドバイザーの派遣 ・「地域安全マップづくり講習会」の開催 ・スクールガードなど、地域人材による通学路安全確保の取組推進 【児童生徒登下校中の事件・事故による死傷者0を目指し、昨年度比大幅減】		
		目標設定の考え方	平成24年度児童生徒登下校中の交通事故数（小学校52件、中学校120件、高等学校184件）	
		②府立学校施設の耐震化の加速 ・府立高校20校41棟の耐震補強工事の完成 ・新たに府立高校22校29棟の耐震工事に着手 【25年度末耐震化率88% 工事着工率92.4%】		
		目標設定の考え方	緊急性の高いものから順次着工し、平成27年度中には全棟着工	
		③「学校における安全教育の手引き」を活用した実践的な安全教育の取組推進 ・地域と連携した学校での防災訓練や予告なしで行う緊急訓練等、実効性のある防災訓練の促進 ・外部有識者による学校防災体制をチェック・指導する体制の整備 【学校安全計画作成率 100%】		
		目標設定の考え方	平成23年度実績（平成24年9月調査） 小学校98.7%、中学校100%、高等学校97.4%	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（１）子育て・子育ての安心 （２）学びの安心		
	使命	⑤子どものたくましく健やかな身体をはぐくむこと ①子どもの個性や能力を最大限に伸ばすこと ②学力の質を高めること	基本目標	⑤生活習慣を身に付けた子どもが増えること ①一人ひとりの個性や能力に合わせた多様な教育機会が充実すること ②基礎学力を身に付け、自ら考え学ぶ意欲にあふれる子どもが増えること
運営目標	小項目	3	京都ならではの教育を進めることで、全ての子どもにしっかりとした生活習慣や学習習慣を確立させるとともに、一人一人の子どもの個性や能力を引き出し、質の高い学力を身につけさせる教育を推進します。	
			①小中学校における京都式少人数教育の推進【全小中学校で実施】 ・小学校1, 2年生で35人学級を実施するとともに、30人を超える学級で複数教員による指導を実施できるよう教員を配置 ・小学校3～6年生で30人程度で学級編制が可能な教員を配置 ・中学校に30～35人程度で学級編制ができる教員を配置 ・小学校から中学校への円滑な接続を図り、児童の個性や能力を伸ばすため、中学校教員等による教科指導を実施	
			目標設定の考え方「明日の京都」数値目標：全小中学校で実施	
			②生活習慣や学習習慣の確立の支援 ・小中学校への「まなび・生活アドバイザー」の配置【小学校17校 中学校18校】 ・保育所や幼稚園、家庭と連携した「もうすぐ1年生体験入学事業」の実施【100校】 ・「親のための応援塾」の開催【新1年生を持つ親の参加率 95%】	
			目標設定の考え方平成24年度実績（まなび・生活アドバイザー-小学校15校・中学校18校、もうすぐ1年生体験入学実施96校、親のための応援塾参加率90%）	
			③基礎基本の徹底【府小中学校基礎学力診断テスト 正答率50%未満の児童生徒割合 小(国・数):10% 中(国・数・英):18%】 ・中1振り返り集中学習（ふりスタ）の実施 ・土曜日等を活用した中2学力アップ集中講座の実施	
			目標設定の考え方「明日の京都」数値目標：府小中学校基礎学力診断テスト 正答率50%未満の児童生徒割合 小学校10%、中学校25%	
			④学習意欲の向上 ・中学生の読解力向上のための小論文グランプリ、読解力向上フォーラム開催 ・大学等と連携し、大学の研究者等から最先端の授業を受ける出前学習の実施【延べ 150回】 ・京都大学との連携による数学リリック・物理グランプリの開催【参加者 延べ1,000名】	
			目標設定の考え方平成24年度実績（出前学習224回（金環日食関係で例年比増）、数学リリック・物理グランプリ参加者732名）	
			⑤学校での学力向上の実践 ・退職教員や保護者からなる支援員チームを、土曜学習や個別学習などで学力向上を目指す学校へ配置【12校】 ・学校独自の学力向上プランを実践研究する、学力向上システム開発校の指定【10校】	
			目標設定の考え方「明日の京都」数値目標：学校の授業時間以外の勉強時間が1日当たり30分に満たない中学生の割合10%（平成24年度24%）	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（２）学びの安心		
	使命	① 子どもの個性や能力を最大限に伸ばすこと	基本目標	①一人ひとりの個性や能力に合わせた多様な教育機会が充実すること
運営目標	小項目	4	生徒、保護者の多様化するニーズにしっかりと応え、学校選択の指標となる特色化を推進するとともに、生徒の個性・能力を最大限伸ばし「夢」を叶えるための府立高校づくりを進めます。	
			①魅力アップのための府立高校特色化 ・大学研究員と高校生が共同研究を行う「研究室」を設置 ・高校サポートカンパニーである先端企業の社員によるワークショップ等の実施 ・「高校生かパニ」を設立し、府立高校生ブランド品を企画、生産、販売 ・ユニークな部活動の新設やＩＣＴを活用した授業の実践など、各校が目指す特色化を支援 ・歴史と伝統を活かした京都らしい高校として、鴨沂高校を全面リニューアル(基本・実施設計) ・全通学圏(5通学圏)での公立高校合同説明会の開催	
			目標設定の考え方 一人一人の能力や個性を伸ばすため、子どもの状況や学校・地域の実態に応じた教育システムの構築を図るとともに、多様なニーズに対応した創意ある教育活動を展開するなど、魅力ある府立高校づくりを推進	
			②京都フレックス学園の整備 ・生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する教育システムの具体化と平成27年４月開校に向けた京都市地区新設校建築工事の着工	
			目標設定の考え方 一人一人の能力や個性を伸ばすため、子どもの状況や学校・地域の実態に応じた教育システムの構築を図るとともに、多様なニーズに対応した創意ある教育活動を展開するなど、魅力ある府立高校づくりを推進	
			③京都市・乙訓地域公立高等学校の新しい教育制度策定 ・新制度の詳細を策定し、平成26年度入試として実施	
			目標設定の考え方 一人一人の能力や個性を伸ばすため、子どもの状況や学校・地域の実態に応じた教育システムの構築を図るとともに、多様なニーズに対応した創意ある教育活動を展開するなど、魅力ある府立高校づくりを推進	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（１）子育て・子育ての安心 （２）学びの安心		
	使命	⑤子どもや青少年が健やかに育つようにすること ④子どもの豊かな人間性をはぐくむこと	基本目標	③少年の非行の状況が改善されること ①公共の精神や規範意識、豊かな感性や情緒を身に付けた子どもが増えること
運営目標	小項目	5	心の教育の充実、子どもの公共の精神や規範意識をはぐくみ、社会の仕組みなどを理解する教育を推進します。	
			①京都府独自の心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」等を活用した豊かな心をはぐくむ取組の推進 【全小中学校で実施】	
		目標設定 の考え方	平成24年度実績（全小中学校で実施）	
			②「結ネット K Y O T O」を充実し、法律や金融、租税などの社会の仕組みやルールを専門家から学ぶ、出前学習を促進 【延べ 小中学校150校 府立高校15校】	
		目標設定 の考え方	平成24年度実績（小中学校106校、府立高校20校）	
			③発達段階に応じたキャリア教育の推進 ・小中学校における伝統文化や仕事体験活動の実施【全小中学校】 ・全府立高校生を対象に、起業家によるグループワークや多様な職場体験、インターンシップなど実践的キャリア教育を推進 【全府立高校】 ・特別支援学校高等部の職業教育の在り方などについて方向性決定【有識者等の意見を聴取し方向性決定】	
		目標設定 の考え方	平成24年度実績（全小中学校、全府立高校で実施） 社会情勢に応じた特別支援学校高等部の職業教育の推進	
			④リーガルマインドを育成するための発達段階に応じたプログラムの開発【京都式法教育の開発】	
		目標設定 の考え方	共生社会のルールを子どもの発達段階に応じて学ばせるカリキュラムを作成し、リーガルマインドを育成することで、いじめや少年非行の問題解決につなげるなど、踏み込んだ具体的な取組を推進	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（２）学びの安心 3 京都力の発揮（１）人づくり （３）文化創造		
	使命	④子どもの豊かな人間性をはぐくむこと ②グローバルに活動する人材を育成すること ①京都文化を継承し、発展させること		基本目標 ①公共の精神や規範意識、豊かな感性や情緒を身に付けた子どもが増えること ①国際理解教育や事業が進展すること ①京都文化にふれる機会が増えること
運営目標	小項目	6 京都の伝統文化を継承し、国際感覚を身に付け、グローバルに活躍できる京都ゆかりの国際人の育成に取り組みます。		
		①府立高校で茶道や華道の専門家等による京都の伝統文化の体験学習を実施【茶道:全校 華道:15校 古典芸能等:10校】		
		目標設定の考え方	平成24年度実績（茶道全校、華道14校、古典芸能等については新規）	
		②地域社会で京都の伝統文化に触れる機会の充実 ・「古典の日」を中心に府内5会場で小中学生による古典の朗読大会等を開催し、日本語の美しさや地域の文化を感じる取組を実施【参加者 4,000名】 ・「古典」をテーマとした補助教材を作成し学校で活用 ・埋蔵文化財発掘調査、重要文化財建造物修理現場等の公開【参加者 8,000名】 ・郷土資料館での小中学校対象文化財出前学習等の実施【延べ40回】 ・丹後郷土資料館における「海の京都」の歴史拠点としての在り方など、郷土資料館のグランドデザインを決定		
		目標設定の考え方	平成24年度実績（古典の日に関する取組参加者約5,000名、修理現場等公開参加者10,983名、出前授業延べ36回） 平成23年度実績（古典の日に関する取組参加者約4,100名、修理現場等公開参加者 8,260名、出前授業延べ28回） 老朽化が進む郷土資料館をより良い施設とするための取組を推進	
		③府立高校生の海外留学や英語力の向上など、国際化に対応した教育の充実【英検準2級以上の府立高校生の割合29%→32%】 ・府立高校生の海外語学研修など海外留学制度の継続【府立高校生の海外留学 100名】 ・ネイティブスピーカーのAETによる府立高校での実践的な英語指導の実施【全府立高校】		
目標設定の考え方	英検準2級以上の府立高校生の割合：平成23年度実績27%から2年程度で5%増(平成24年度実績29%) 府立高校生の海外留学：5年で500名程度（平成24年度実績124名） AET配置：平成24年度実績100%			

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（2）学びの安心		
	使命	① 子どもの個性や能力を最大限に伸ばすこと	基本目標	①一人ひとりの個性や能力に合わせた多様な教育機会が充実すること
運営目標	小項目	7	小中学校及び高等学校における特別支援教育推進及び地域での特別支援教育の相談体制を充実します。	
		目標設定の考え方	①京都府スーパーサポートセンターの専門性を活かした特別支援学校教員等の指導力の向上及び地域支援センターの小中学校等に対する相談体制の充実 ・スーパーサポートセンターにおける参加体験型等の教員研修の実施【10回 参加者500名】 ・地域支援コーディネーターの配置【29名配置 相談件数 5,000件】	
			平成24年度実績（教員研修12回 参加者463名、地域支援コーディネーター29名 相談件数5,834件）	
			②小中学校及び高等学校における特別支援教育の推進体制充実及び地域支援センターにおける教員等を対象とした研修の実施 ・府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制の充実【2名配置】 ・高校における個別の指導計画の作成促進【60%】 ・地域支援センターにおける小中学校教員等を対象とした研修の実施【延べ 110回以上】	
		目標設定の考え方	平成24年度実績（高校における指導計画作成42.6%、地域支援センターにおける研修104回）	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（２）学びの安心		
	使命	③教員の資質や指導力を向上させること	基本目標	①教員としての能力を高める機会が充実すること
運営目標	8	実践力を備えた教員の養成やそれぞれの学校現場の課題に応じた指導力向上を図るとともに、教員の内発的な意欲を一層高め、自らが研鑽する仕組みを構築します。		
	小項目	①企業や大学と連携した研修を通じたミドルリーダー、学校改革の中核となる教員の育成 【研修講座45講座、イノベーションリーダー養成10名】		
		目標設定の考え方	企業のノウハウや大学の専門性を活かした研修講座の推進 イノベーションリーダーについては、平成24年度実績（20名）からさらに精選した取組を推進	
		②大学と連携し、学校現場での実践力を備えた教員の養成 ・教員志望の大学3回生を対象としたインターンシップ「教員養成サポートセミナー」の実施【参加者100名】 ・「教員養成サポートセミナー」修了者等を対象とした「教師力養成講座」の実施【参加者60名】		
		目標設定の考え方	平成24年度実績（教員養成サポートセミナー参加者131名、教師力養成講座60名）	
		③集合型研修から学校現場のニーズに応じた研究・支援への改革推進 ・学校現場で受講できる出前講座の充実実施【延べ200講座 受講者4,500名】 ・単位履修制度による課題に応じた受講システムの推進【総合教育センター研修受講者 延べ22,000名】		
目標設定の考え方	出前講座：平成24年度実績（延べ299講座 受講者7,257名） 総合教育センター研修受講者：「明日の京都」数値目標22,000名（平成24年度実績27,246名）			

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（２）学びの安心		
	使命	⑦地域全体で子どもをはぐくむ環境づくりを進めること	基本目標	①教員以外の地域の人が学校や家庭での教育を支援する取組が増えること
運営目標	9	学校と家庭、地域社会が一体となって教育を行うための環境整備を府内全域で推進します。		
	小項目	学校と地域が協働して子どもたちをはぐくむ取組の推進 ・学校支援地域本部等の取組推進【新規取組校(園)10校】 ・「京のまなび教室」の開催【19市町(組合)教委78教室】 ・市町村における子育て・親育ち講座等の実施促進【延べ55講座】 ・小学校PTA等による「親のための応援塾」の開催【新1年生の子どもを持つ親の参加率 95%】		
		目標設定の考え方	平成24年度実績（学校支援地域本部105校、京のまなび教室75教室、子育て・親育ち講座55講座、親のための応援塾参加率90%）	

平成25年度 教育委員会運営目標

【 】…数値目標

中期計画	基本方向	1 府民安心の再構築（2）学びの安心 3 京都力の発揮（3）文化創造	
	使命	⑤子どものたくましく健やかな身体をはぐくむこと ③新しい文化・芸術、スポーツを振興すること	基本目標 ①子どもの健康が増進し、体力が向上すること ①新しい文化・芸術、スポーツの拠点づくりや活動が拡充されること
運営目標	10	学校や地域社会で子どもたちの体力・競技力の向上を図る取組を推進します。	
	小項目	①小学生の発達段階に応じて体力向上を図るための指導資料「京のこども元気なからだスタンダード」（3、4年生版）及び「京のこども元気なからだスタンダードPLUS+」（5、6年生版）の活用促進、小学校教員の指導力向上 ・「体力向上推進プロジェクト」実践校によるスタンダードを活用した体育授業等における体力・運動能力の向上に向けた取組の実施【指定校11校】 ・小学校教員への「京のこども元気なからだスタンダードPLUS+」（5、6年生版）の周知と指導力向上を図るための「スタンダード実技研修会」の開催【年5回 水泳、陸上運動、器械運動など】	
		目標設定の考え方：平成24年度実績（指定校11校、スタンダード実技研修会3回）	
		②中学校での武道・ダンス必修化に対応できる指導体制の充実 ・2～5年目の教員や女性教員、指導経験の浅い教員を対象とした柔道等の実技講習会の開催【年3回（柔道2回、ダンス1回）】 ・保健体育科の初任者教員に対する武道の実技研修の実施【全初任者教員の受講】 ・地域の専門的指導者の派遣による中学校での武道・ダンス授業の充実	
		目標設定の考え方：平成24年度実績（実技講習会2回、実技研修の全保健体育初任者受講）	
運営目標	小項目	③スポーツ指導者が子どもたちを指導する取組の推進 ・地域のスポーツ指導者による部活動等指導の実施【中学校100運動部、高等学校50運動部】 ・京都ゆかりのトップアスリート等による学校や地域での指導の実施 【国体選手等派遣事業、もっと元気な京都ジュニア「夢・未来」スポーツ体験事業 20種目20会場 参加者延べ1,500名】	
		目標設定の考え方：平成24年度実績（地域のスポーツ指導者による部活動等指導126運動部、トップアスリート等による指導への参加者1,600名）	
		④新たな「京都府スポーツ推進計画（仮称）」の策定 目標設定の考え方：現行の「京都府スポーツ振興計画」計画期間が本年度までであるため。	
運営目標	11	府民の声を受け止めた教育行政の推進に努めます。	
	小項目	①教育委員会と府民の積極的な交流、府民への積極的な広報活動 ・直接現地に出向き、地域住民・保護者・教職員等と意見交換を行う、スクールミーティングや移動教育委員会の開催 ・府立高校生との意見交換や教育委員の出前授業実施 ②教育委員の施策形成プロセスへのより積極的な参加 ・教育委員会や他の検討会議などで積極的に具体的な施策の方向性等を示す。	